

平成 22 年 7 月期 中間決算短信 (平成 21 年 7 月 9 日～平成 22 年 1 月 8 日)

平成 22 年 2 月 26 日

ファンド名 上場インデックスファンド TOPIX Mid400 日本中型株 上場取引所 東証
 コード番号 1317
 連動対象指標 TOPIX Mid400
 主要投資資産 株式
 売買単位 10 口
 管理会社 日興アセットマネジメント株式会社 URL <http://www.nikkoam.com/>
 代表者名 取締役社長 ビリー・ウェード・ワイルダー
 問合せ先責任者 ディスクロージャー部長 犬伏 貴民 TEL (03)6447-6147

半期報告書提出予定日 平成 22 年 4 月 8 日

I ファンドの運用状況

1. 22 年 1 月中間期の運用状況 (平成 21 年 7 月 9 日～平成 22 年 1 月 8 日)

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計 (純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 1 月中間期	802	(100.0)	△0	(△0.0)	801	(100.0)
21 年 1 月中間期	731	(100.0)	0	(0.0)	731	(100.0)

(2) 設定・交換実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	交換口数(③)	当中間計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
22 年 1 月中間期	836	0	0	836
21 年 1 月中間期	836	0	0	836

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	10 口当たり基準価額 (③/当中間計算期間末発行済口数) × 10)
	百万円	百万円	百万円	円
22 年 1 月中間期	804	2	801	9,592.9
21 年 1 月中間期	734	2	731	8,751.6

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

Ⅱ 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：円)

科目	期別	前中間計算期間末 平成 21 年 1 月 8 日現在	当中間計算期間末 平成 22 年 1 月 8 日現在
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		2,271,799	1,544,835
株式		731,326,350	802,026,760
未収配当金		801,750	666,400
流動資産合計		734,399,899	804,237,995
資産合計		734,399,899	804,237,995
負債の部			
流動負債			
未払金		106,956	-
未払受託者報酬		223,356	208,580
未払委託者報酬		2,010,799	1,877,730
その他未払費用		425,449	189,248
流動負債合計		2,766,560	2,275,558
負債合計		2,766,560	2,275,558
純資産の部			
元本等			
元本		977,284,000	977,284,000
剰余金			
中間剰余金又は中間欠損金(△)		△245,650,661	△175,321,563
(分配準備積立金)		34,073	156,505
元本等合計		731,633,339	801,962,437
純資産合計		731,633,339	801,962,437
負債純資産合計		734,399,899	804,237,995

(2) 中間損益及び剰余金計算書

(単位：円)

科目	期別	前中間計算期間 自 平成 20 年 7 月 9 日 至 平成 21 年 1 月 8 日	当中間計算期間 自 平成 21 年 7 月 9 日 至 平成 22 年 1 月 8 日
		金額	金額
営業収益			
受取配当金		7,431,125	5,253,325
受取利息		4,215	1,007
有価証券売買等損益		△284,775,049	17,269,070
その他収益		45,420	33,320
営業収益合計		△277,294,289	22,556,722
営業費用			
受託者報酬		223,356	208,580
委託者報酬		2,010,799	1,877,730
その他費用		425,449	189,248
営業費用合計		2,659,604	2,275,558
営業利益又は営業損失 (△)		△279,953,893	20,281,164
経常利益又は経常損失 (△)		△279,953,893	20,281,164
中間純利益又は中間純損失 (△)		△279,953,893	20,281,164
一部交換に伴う中間純利益金額の分配額又は一部交換に伴う中間純損失金額の分配額 (△)		-	-
期首剰余金又は期首欠損金 (△)		34,303,232	△195,602,727
剰余金増加額又は欠損金減少額		-	-
中間一部交換に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額		-	-
中間一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		-	-
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		-	-
分配金		-	-
中間剰余金又は中間欠損金 (△)		△245,650,661	△175,321,563

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

期 別 項 目	前中間計算期間 自 平成20年7月9日 至 平成21年1月8日	当中間計算期間 自 平成21年7月9日 至 平成22年1月8日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における中間計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は中間計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）又は金融商品取引所等が発表する基準値で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>	<p>株式は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における中間計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は中間計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 同左</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 同左</p>

(中間貸借対照表に関する注記)

前中間計算期間末 平成21年1月8日現在		当中間計算期間末 平成22年1月8日現在	
1. 期首元本額	977,284,000 円	1. 期首元本額	977,284,000 円
期中追加設定元本額	0 円	期中追加設定元本額	0 円
期中交換元本額	0 円	期中交換元本額	0 円
2. 中間計算期間末日における 受益権の総数	836,000 口	2. 中間計算期間末日における 受益権の総数	836,000 口
3. 元本の欠損 中間貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は245,650,661円であります。		3. 元本の欠損 中間貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は175,321,563円であります。	

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

前中間計算期間 自 平成20年7月9日 至 平成21年1月8日	当中間計算期間 自 平成21年7月9日 至 平成22年1月8日
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(1口当たり情報)

前中間計算期間末 平成21年1月8日現在		当中間計算期間末 平成22年1月8日現在	
1口当たり純資産額	875.16 円	1口当たり純資産額	959.29 円
(百口当たり純資産額)	(87,516 円)	(百口当たり純資産額)	(95,929 円)